



災害に備える

佐倉市 危機管理課

東日本大震災（平成23年東北地方太平洋沖地震）

【地震の概要】

発生：平成23年3月11日14時46分ごろ

震源：三陸沖

震源の深さ：24 km

地震の規模：マグニチュード9.0

最大震度：震度7

津波：最大で9.3m以上

【人的被害】（R3.3月時点）

死者：19,747名

行方不明者：2,556名



佐倉市の被害

■佐倉市観測震度 5強

■住家被害 1,945棟（2,225世帯）

全壊33棟（42世帯） 半壊240棟（250世帯） 一部損壊1,672棟（1,933世帯）

■ライフライン被害

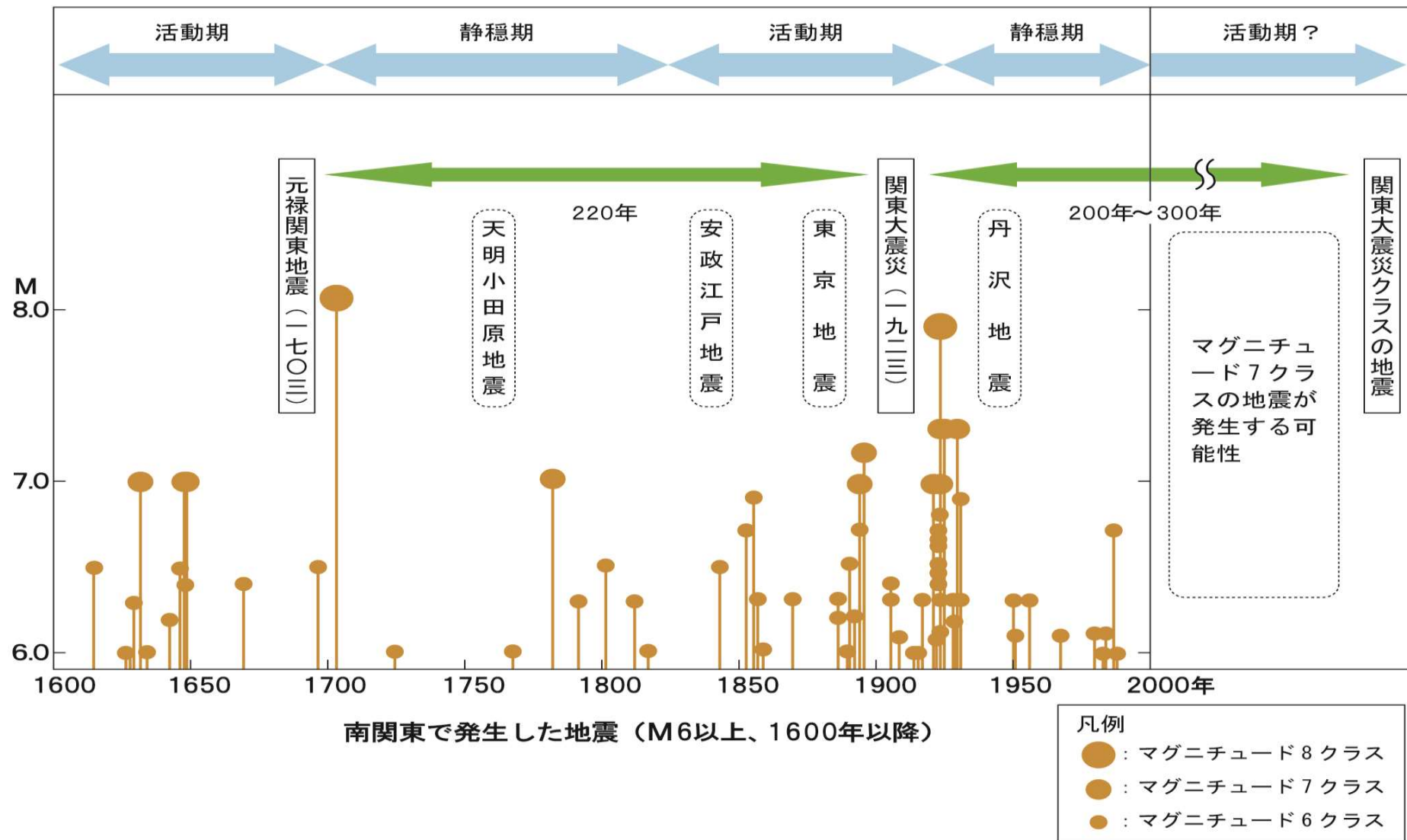
停電 4,000軒 断水20,834軒 ガス（簡易LP）1,320軒

■その他

計画停電、ガソリンスタンド、帰宅困難者

地震の周期

南関東では、2～3百年間隔で発生する関東大震災クラスの地震の間に、マグニチュード7クラスの直下型地震が数回発生する。大都市直下で発生した場合、多大な被害が生じる。



自助・共助・公助

**自助**

住まいの点検や生活必需物資の備蓄などを行い、自分の身の安全は自分で守ること

共助

自主防災組織などの活動に積極的に参加・協力するなど、地域の皆さんや身近にいる人たちが協力して助け合うこと

公助

行政などによる防災体制の整備や災害時の救助・支援を行うこと

「自助・共助・公助」が連携することが、減災につながります！

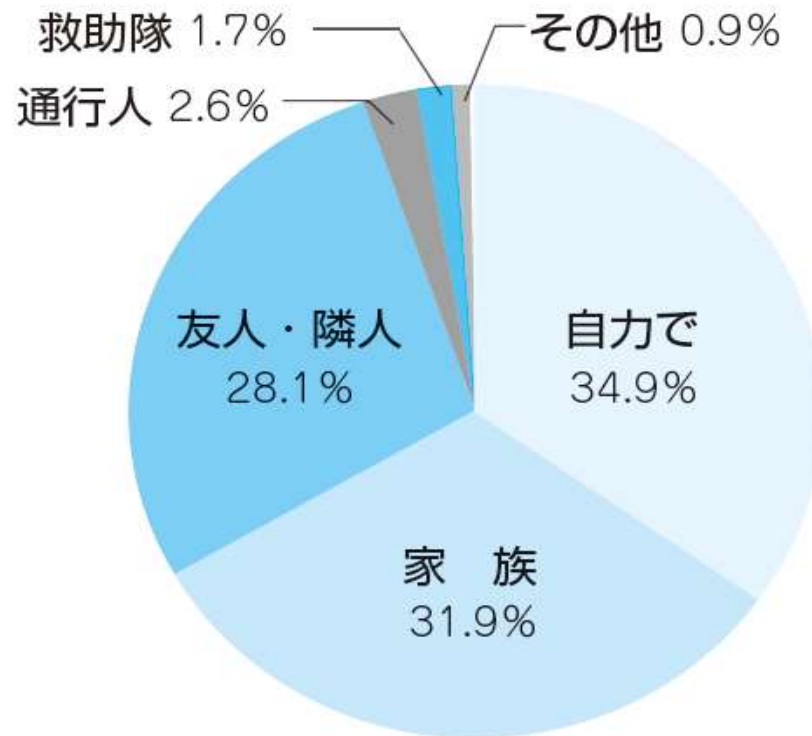
消防署の現有消防力（佐倉市・八街市・酒々井町全体）

（令和5年4月1日現在）

消防吏員 390人			消防ポンプ自動車 19台			高規格救急車 11台		
一人当たり			一台当たり			一台当たり		
人 口	世帯数	面 積	人 口	世帯数	面積	人 口	世帯数	面 積
人	世帯	km ²	人	世帯	km ²	人	世帯	km ²
662	312	0.51	13,598	6,414	10.40	23,487	11,078	17.97

出典：佐倉市八街市酒々井町消防組合「令和5年版消防年報」

公的機関の支援には限界があります。



↑生き埋め・閉じ込めからの救助は
(社)日本火災学会「兵庫県南部地震における
火災に関する調査報告書」から

災害から命を守るのは誰？

○大規模な地震災害が発生した場合においては、電気、ガス、水道、道路などライフラインの寸断や、同時多発する火災への対応のため、防災関係機関の活動は著しく制限され、迅速な対応は困難となる。

頼りになるのは「近所(近助)の力」！

- 阪神・淡路大震災では、家屋の倒壊により生き埋めや建物に閉じ込められた人のうち約98%は自力または家族、隣人などに救助された。
- 消防のレスキュー隊などの専門の救助隊に助けられたのは、**わずか1.7%**であった。
- 発災直後の人命救助や初期の消火活動は、近隣住民の協力が必要であり、こうした各地域の実情にあわせた組織的な防災活動が、多くの命や財産を守るために、大きな役割を果たします。

6

【自助】家庭でできる防災対策

災害が起きる前の必要な対策とは…

家が倒壊する…

家の耐震化

家具が倒れてきて怪我をする…

家具の固定や配置を確認

ライフラインが停止…

1週間分の備蓄

必要に応じて避難…

非常持ち出し品の用意

家族の無事は…

安否確認方法の確認

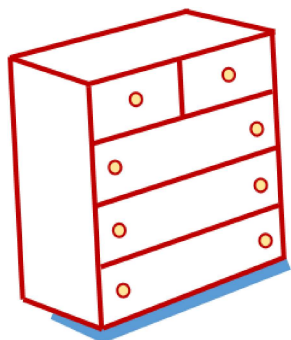
自分と家族の命を守り、自分たちだけで1週間生活するための備えをする！

【自助】家庭でできる防災対策

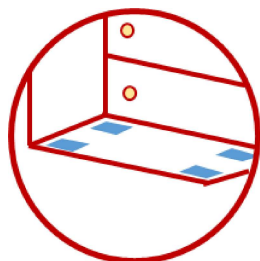
家具の固定や配置を確認

☞ 「L型金具」が難しい場合には、下に「ストッパー」か「マット」、上に「ポール(つっぱり棒)」を設置すれば、「L型金具」と同等の強度に！

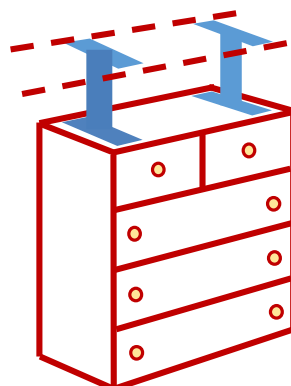
家具の固定



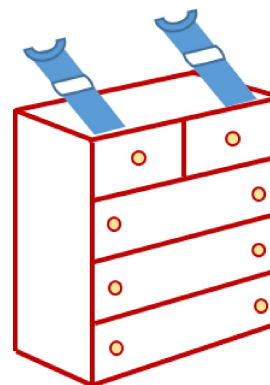
ストッパー



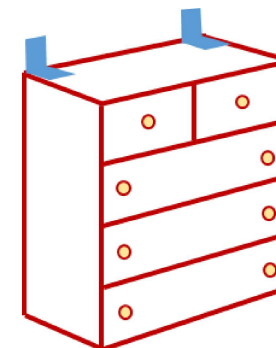
マット
(粘着シート)



ポール(つっぱり棒)



ベルト



L型金具

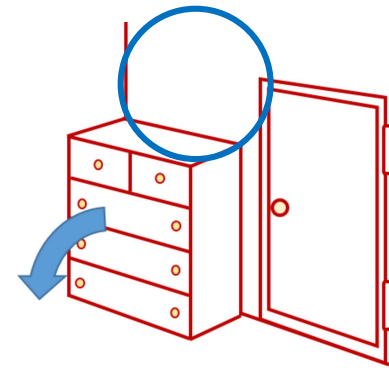
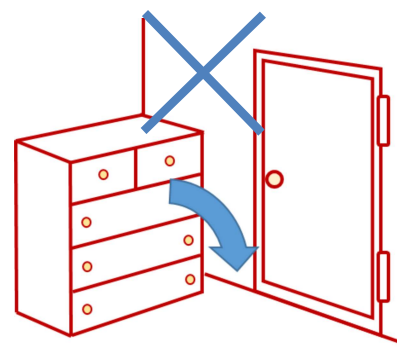
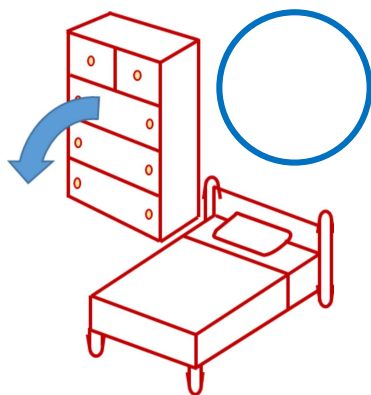
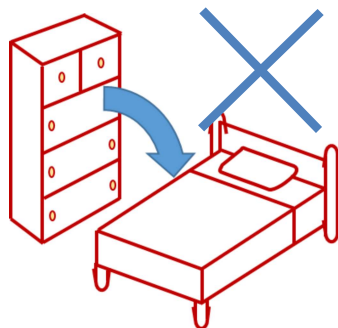
小

器具の効果

大

家具の配置

固定できない場合は、配置だけでも変えておきましょう



各家庭での備蓄

ローリングストックのイメージ

食べ物や日用品を少し多めに購入、日常生活で消費



普段食べているものを基本に、最低3日分～できれば1週間分の食料を備えましょう！
※水は1人1日3リットル

自分や家族オリジナルのものがある方は特に注意！

災害時に特に必要なもの



食品と調理器具の備蓄があれば災害時でも調理が可能！



非常持ち出し品の用意

貴重品

- ☐ 現金
- ☐ 預貯金通帳
- ☐ 印鑑
- ☐ 身分証明書の写し など



照明・情報

- ☐ 懐中電灯
- ☐ 乾電池（予備）
- ☐ 携帯電話・充電器（電池式）
- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ メモ帳・筆記用具 など



飲料水

- ☐ ペットボトル入り飲料水 など



感染症対策

- ☐ マスク
- ☐ 体温計
- ☐ アルコール消毒液

食料

- ☐ 簡易食料
- ☐ 缶詰
- ☐ レトルト食品 など



応急医療品

- ☐ 救急セット
- ☐ 常備薬・持病薬
- ☐ 三角巾 など



食事用具

- ☐ 皿・コップ
- ☐ 割り箸・スプーン など



日用品

- ☐ ポリ袋
- ☐ ライター
- ☐ ロープ
- ☐ カセットコンロ など



衣類など

- ☐ 下着・くつ下
- ☐ 軍手
- ☐ 雨具
- ☐ 運動靴 など



乳幼児用具

- ☐ 粉ミルク・ほ乳瓶
- ☐ 離乳食
- ☐ 紙おむつ・おしりふき など



清潔維持用品

- ☐ タオル
- ☐ ティッシュ・ウエットティッシュ
- ☐ 生理用品 など



トイレ用品

- ☐ 携帯トイレ
- ☐ トイレットペーパー



災害時の連絡方法の確認

災害用伝言ダイヤル（171）



「171」にダイヤル

録音の場合
「1」を押す再生の場合
「2」を押すガイダンスにしたがって
メッセージを録音または再生

災害用伝言板（web171）



「web171」にアクセス

電話番号を入力し
「登録」か「確認」を選択登録の場合、
案内にしたがって、
伝言を登録確認の場合、
表示された
情報を確認

※毎月1日と15日、正月三が日、防災週間（8月30日～9月5日）、防災とボランティア週間（1月15日～1月21日）に体験利用できます。

家族が離ればなれになったときの連絡方法を決めておきましょう。

[illegible]

【自助】情報を入手する

令和3年5月20日から 避難指示で必ず避難 避難勧告は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	 災害発生又は切迫 緊急安全確保※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~		
4	 災害のおそれ高い <b>避難指示※2</b>	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	 災害のおそれあり <b>高齢者等避難※3</b>	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	 気象状況悪化 大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	 今後気象状況悪化のおそれ 早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、  
すでに安全な避難ができず  
命が危険な状況です。  
**警戒レベル5緊急安全確保の  
発令を待ってはいけません！**

**避難勧告は廃止**されます。  
これからは、  
**警戒レベル4避難指示で**  
**危険な場所から全員避難**  
しましょう。

避難に時間のかかる  
**高齢者や障害のある人は、**  
**警戒レベル3高齢者等避難で**  
**危険な場所から避難**  
しましょう。

# 【自助】 情報を入手する



- 防災行政無線「ぼうさいくら」  
市内の学校や公園などに、防災行政無線スピーカーを設置しています。災害時の避難情報などの防災情報をはじめ、平常時には市からの行政情報（行方不明者、振り込め詐欺などの情報）を放送しています。  
＜防災行政無線テレフォンサービス（無料）＞  
防災行政無線で放送した内容が聞き取れなかった場合など、24時間いつでも電話で確認できます。

0120(711)508

- 佐倉市メール配信サービス  
防災行政無線の放送内容や、新型コロナウイルス感染症関連情報をメールでお知らせするサービスです。

【登録方法】

二次元コードを読み取る、または直接アドレスを入力して 空メールを送信  
✉ sakura@emp.ikkr.jp

- 「佐倉市防災情報」ツイッター  
防災行政無線や、佐倉市メール配信サービスなどで配信した、災害・緊急情報などをツイートします。

アカウント名：@bousai_sakura

- 佐倉市公式ウェブサイト  
災害時の最新情報や避難所情報などをお知らせします。

<http://www.city.sakura.lg.jp/>

## 平常時の取組み

- 地域内の危険な場所と安全な場所の把握
- 避難ルートの確認
- 防災に関する啓発
- 防災用資機材の整備・点検
- 防災訓練の実施（初期消火・応急手当・炊き出しなど）
- 高齢者や障がい者など避難に時間がかかる人たちの把握  
→情報伝達体制や避難支援体制の構築・整備
- 近所の顔見知りを増やす取組み（イベント・あいさつ運動）



## 災害時の取組み

- 近隣の被害状況の確認（道路・ブロック塀・電線・看板）
- 近所での安否確認
- 避難誘導・避難支援
- 初期消火活動・応急救護
- 避難所運営の協力

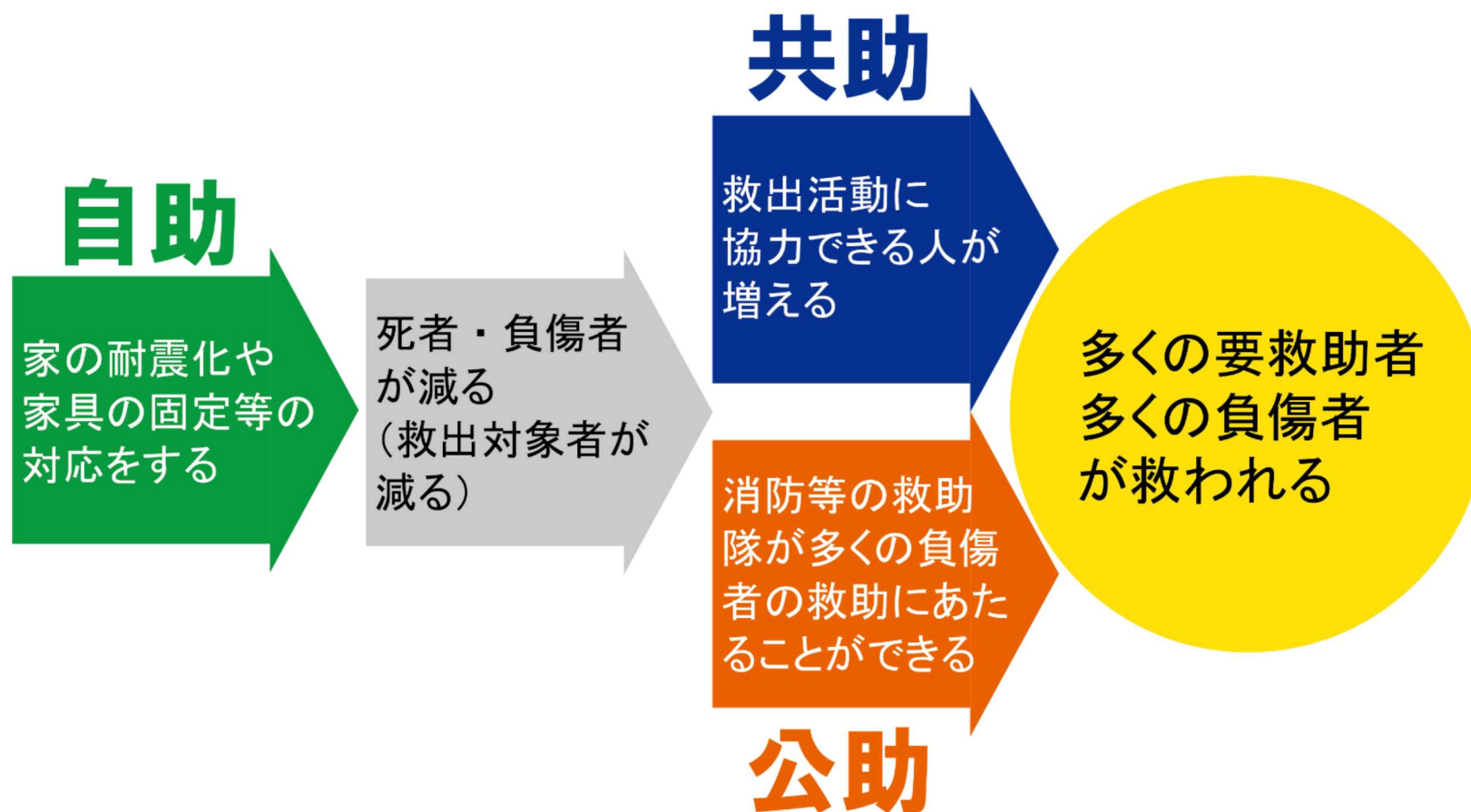


共助の基本原則

「普段から仲がいい」→「有事の時に助け合える」

## まとめ

## 自助・共助で減災を！



どんなに科学が進歩しても、自然災害そのものを防ぐことはできません。しかし、災害による被害は、一人ひとりの力や、隣近所の力で、小さくすることができます。一人が自助となる行動を起こすことで、一石二鳥の大きな減災効果となります。自助は最大の共助です！今日からできることをはじめましょう！